

(社) 日本詩人クラブ新事業

評論エッセイ冊子『詩界論叢 2023 (第一集)』

追加募集のご案内

<すでに 90 名近い方々の力作原稿が集まっています!!>

(編集委員会より皆様へ)

日本詩人クラブならではの文学的価値の豊かさと、多様でにぎやかな詩精神の共演で、ベテラン勢の重要な評論エッセイも充実していれば、新しい存在からの新鮮で刺激的な詩論エッセイも続々とあり、これを創刊することで日本詩人クラブが 70 周年後にもさらなる新時代へ詩文学を盛り上げていくことが内外に明らかになるでしょう。

歴史にのこるせっかくの機会ですので、6 月末のしめきりを過ぎて、もうひと声、未参加の方々に呼びかけさせていただきます。詩に関する評論エッセイでご参加されませんか？お待ちしております。

追加募集の締切をこの夏の 8 月 20 日必着とさせていただきますので、ご検討ください。

詳細は裏面の募集要項をご覧ください。

<発刊案内より部分再録>

日本詩人クラブでは創立 70 周年を契機に、新しい事業として、詩に関する評論やエッセイを発表する冊子、『詩界論叢』を発刊する企画を計画いたしました。日本詩人クラブの創立の理念は、「和暢友愛の精神をもって詩及び詩学の興隆、国語の醇化に務め、日本文化の進歩に寄与するとともに、詩の国際交流を促して、世界平和の確立に貢献することを目的とする」であります。『詩界論叢』は、広い範囲で、詩人の交流の場となることを願っております。日本詩人クラブの伝統を守りながら、**詩の愛好者のための冊子としたいため、会員、会友をはじめ、会員でない方からも参加して頂きたいと考えております。**

詩人たちが詩について語りあえる場を共有しながら、詩論やエッセイを発表する場を持つことは、詩の世界を広げ、詩の質を高めることにつながります。既に、隔年で発刊している、『日本現代詩選』では、会員の方たちに詩を発表して頂いていますが、評論やエッセイにおいては、広く詩人の皆様の執筆意欲を促し、その成果を広い読者層にも訴えてゆくものとして、『詩界論叢』を展開して参りたいと存じます。詩という表現をさらに深く見つめ直し、散文によって詩を語ることも重要であると思われまます。

今後は、『日本現代詩選』と『詩界論叢』を隔年ごとに発刊し、日本詩人クラブの活動を充実させていきたいと考えております。

* 監修 川中子義勝・中村不二夫

* 編集委員 佐相憲一(編集長)・遠藤ヒツジ・高島りみこ・原詩夏至

* 編集参与 網谷厚子・江口節・太田雅孝・岡野絵里子・尾世川正明・神田さよ・北岡淳子・古賀博文・小林弘明・齋藤貢・佐々木久春・杉谷昭人・瀬崎祐・武子和幸・武西良和・谷口ちかえ・富長覚梁・富岡悦子・中原道夫・原田道子・橋浦洋志・花潜幸・星善博・前原正治・松尾静明・吉田義昭・若宮明彦

『詩界論叢 2023（第1集）』 追加募集要項

日本詩人クラブでは創立70周年を契機として、新しく、評論・エッセイの冊子『詩界論叢』を発刊することにいたしました。詩作品アンソロジー『日本現代詩選』と交互に隔年刊行し、会報『詩界通信』、年刊誌『詩界』と共に日本詩人クラブ4大定期刊行物となることをめざします。日本詩人クラブの伝統的な特性を活かして一層の活性化と交流促進をはかると共に、広く詩の愛好者のための冊子とし、会員・会友をはじめ、会員でない方も参加することができます。詩を中心とした評論・エッセイの原稿を広く募集いたします。応募作品は既発表のものでもかまいません。多くの方々の積極的なご参加をお待ちしています！

- ▶ **参加費**・1頁につき、4,000円。1頁は25字×25行の2段組になります。うち、題名・氏名としての5行分を含みます。作品の長さには制限はありません。
- ▶ **参加費支払い**・校正後に請求させていただきますので(掲載と頁数の確定後)、参加費の事前支払いや原稿に同封はしないでください。
- ▶ **原稿送り先・電子メール** zvc05352@nifty.com(日本詩人クラブ)
郵送 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-11-16 日本詩人クラブ事務所『詩界論叢』編集委員会あて
メール送信可能な方は電子データを送信。費用低減のため可能な方は御協力をお願いします。なお、メール送信した場合でも、編集の都合上、プリントアウトしたものを2部郵送してください。
郵送の場合は、原稿コピーを2部提出してください。編集作業の都合上、お手数でも御協力ください。

◆原稿締切日・2023年8月20日・必着(厳守のこと)◆

- ▶ **刊行予定**・2023年12月15日刊行予定
- ▶ **製本**・A5判、並製冊子、2段組(25字×25行×2段)
- ▶ **配本**・会員には参加の有無にかかわらず1冊を配本し、会員外の執筆者にも1冊を配本。その他に購入を希望される方は定価の3割引き(参加者は著者校正時に申し込み)。参加者以外の方の追加購入申し込みは、定価及び割引価格は決まり次第、「詩界通信」等でお知らせします。
- ▶ **執筆要領・使用紙の大きさ** A4判原稿用紙またはA4判プリンター用紙を使用してください。
 - ・**氏名題名** 1行目に氏名、3行目にタイトル(副タイトル等がある場合は4行目)の順に記載してください(印刷では、上段の5行分中に組まれます)。
 - ・**本文** 本文は6行目から書いてください。
 - ・**本文の行数** 1頁25字×50行。題名・氏名として5行分を含みますので、1頁目本文は25字×45行(1125字)。次頁からは同50行(1250字)。ワード原稿は、可能であれば1行を25字に設定してください。
 - ・**プロフィール(冊子の巻末にまとめて掲載)** 本文原稿の後に3行程度空白行を入れた後に(用紙を改めても可) ①氏名のふりがな、②居住地(国内の場合は都道府県名のみ)・生年(西暦・漢数字)、③「所属詩誌」(29字以内)、④『主要著書』(書名のみ、3冊以内。それを超える場合は“他”とする)の順で、番号とともに記載(番号ごとに改行)してください。
 - ・**著者校正** 著者校正を1回実施します。その際、原稿差し替えや書き直しはお控えください。 以上。